

『浮遊』

作：渋谷悠 原案：こぼん

(拒食症のデリヘル嬢が客といる)

…そうですか？そう言ってくれると嬉しいです。

いつも指名してくれてありがとうございます。相性いいですよ…私も気持ち良かったです。今日は激しくしちゃったから、10分余っちゃいましたね、なんかします、他のこと？

…やめてください、私の話なんてつまんないですよ。藤田さんが何か話してくださいよ。…ん～じゃあ、そうですね、なんか私にリクエストあります？次はこうして欲しいとか。ここを攻めて欲しいとか。

(栄養を取った方が良いと言われて)

え…それ逆鱗なんですけど、本気で言ってます？

いや心配だからとか言い訳はいらないです。

ぽっちゃり系がいいなら別の店電話しろって話じゃないですか。痩せてるのがいいから私を指名してくれてるんじゃないんですか？

もっと栄養取った方がって、あなたに栄養の何が分かるんですか？！

藤田さん私、私は、食べ物を買う時必ず脂質の割合、炭水化物の割合をチェックするんです見たことありますか？どこにそんなこと書いてあるのか知ってますか？

小6の頃からずっとこうなんです。鏡を見た後はほぼ必ず瘦身グッズを検索してるんです。これは、この体は、努力の結晶なんです。

心配なんてされる覚えありません！

…ちょっと、そんなに謝らないでください。そんなに謝るなら最初から変なこと言わないでください。分かりました、分かりましたから！

てっきり、こういう体が好みだと思ってたんでショックでした。

小6の4月からずっと…身体測定ってあるじゃないですか、年の初めに。クラスで一番可愛かった久美ちゃんより1キロも多いて知って、それからずっとこうなんです。

給食は食べるフリしてビニール袋に入れて、帰り道で捨ててました。一度、母のお弁当を残して習字道具の中に隠したことがあったんです。そしたらショウジョウバエがわーってなって、食べ物がそうなるって知らなかったから、食べてないからフラフラなのにショウジョウバエ叩こうとして。

自分が勝てることって、そんなじゃないじゃないですか。だから体型で周りに勝てると優越感が気持ちいいんです、セックスなんかよりもずっと。

でね、痩せていくとちょうどいい時があるんです。体力はギリギリあって、でも体は軽くて。あの軽さがいいんです。浮遊してるみたいな、風が吹いたら飛べそうなあの感じ…と一っつても心地いいんですよ。

…ほらね、私の話なんてつままないでしょう？

…そんなこと聞いてどうするんですか？

こんな状況でカウンセリングの真似事とかイタいですよ。

藤田さんのこと好きになっちゃったらどうするんですか？もっとイタいですよ。

…両親とはそりゃ、仲良かったら色々違ったのかなとか思いますよ？でも自分の家族しか知らないんだから分かりっこないですよ。

うちは、母が父のことを「馬鹿だ馬鹿だ」ってことあるごとに言う家庭でした。アスペルガーなんですよ、父が。無抵抗だからエスカレートして、家族みんなで父に物を投げるとか日常茶飯事でした。うちでは、何か母の癪に障ることをすると「パパそっくり」って言われるんです。だから、私の中の半分は、父に似た部分は、絶対母に愛されないんです。

私は、痩せることで、愛されない部分を削り取ろうとしてるのかな、とか思ったことがあります。…だとしたら私、相当馬鹿ですよ。

(女、帰り支度を始める)

そろそろ時間ですね。また指名してくださいね？

あーほら、もう藤田さんのこと好きになりかけてるじゃないですか。

藤田さん。私藤田さんの予約が入るとウキウキして、下剤を飲むんですよ。変な話でごめんなさいね。効くタイミングがコントロールしやすいお気に入りののがあって、それを飲むんです。膨れたお腹で会いたくないから、全部出して来てるんです。

今日も私、とっても軽かったでしょう？